

但馬養鶏農業協同組合

但馬食鶏流通センター



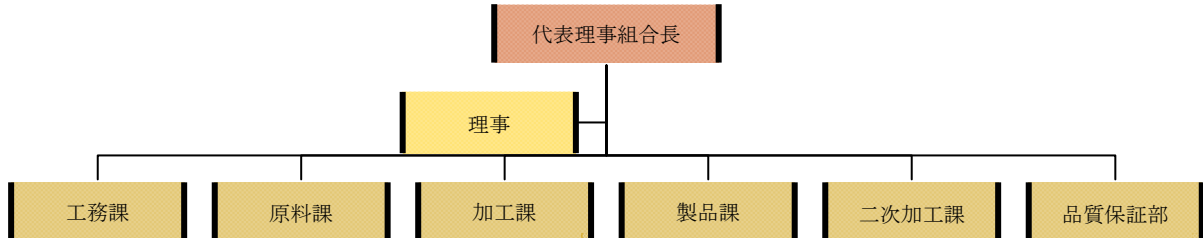
品質方針

私たちは「新鮮、衛生、安全、安心」をモットーに健康で豊かな食文化に貢献し、お客様に満足していただける製品を提供します。

組合概要

- 組合名 但馬養鶏農業協同組合
 - ・ 但馬食鶏流通センター [大規模食鳥処理場、食肉処理業]
 - ・ 有機肥料センター [鶏糞処理販売業]
 - ・ 第2センター [認定小規模食鳥処理場、食肉処理業]

但馬養鶏農業協同組合（但馬食鶏流通センター）組織図



- 所在地 〒669-5315 兵庫県豊岡市日高町浅倉 45 番地
- 設立 1972 年 4 月
- 代表理事組合長 岸田直正
- 資本金 8,435 万円
- 従業員 130 名
- 施設の敷地面積 12,500 m²
- 工場棟の面積 3,450 m²
- 管理棟の面積 500 m²
- 冷凍・冷蔵施設 432 m² (冷凍庫、凍結庫、冷蔵庫)
- 食鳥処理能力 3,800 羽/時 60 万羽/月
- 汚水処理能力 950t/日 (最大)



但馬食鶏流通センター

沿革

- 1972 年 4 月 但馬養鶏農業協同組合設立
組合員：269 名
- 1974 年 2 月 ブロイラー実験用ウィンドレス鶏舎設立
- 1984 年 3 月 但馬食鶏流通センター竣工
食鳥処理能力：年間 10,800 千羽
- 1990 年 3 月 但馬食鶏流通センター増改築工事竣工
- 1997 年 3 月 自動中抜システム新設 一部食鳥処理工程改善
- 2000 年 11 月 ISO9001 認証取得



第2センター

- 2003 年 3 月 但馬食鶏流通センター
兵庫県食品衛生管理プログラム認定取得
- 2004 年 10 月 兵庫県認証食品認定
- 2004 年 11 月 台風 23 号による水害のため工場内改築
- 2005 年 1 月 第2センター竣工
- 2008 年 6 月 大バラシ機、自動中抜システム更新
- 2008 年 11 月 密閉型構造スクリー式冷却チラー導入
- 2008 年 11 月 第2センター
兵庫県食品衛生管理プログラム認定取得
- 2009 年 6 月 自動脱毛設備を更新
- 2011 年 5 月 食鶏流通センター浄化槽排水加圧浮上装置増設



製造工程

【原料課】

1. 生鳥の搬入と懸鳥工程



契約運送会社により各農場から生鳥プラットフォームに当日処理予定の鶏が搬入される

■食鳥検査員〔兵庫県職員獣医師〕による「生鳥受入検査」実施



「死鳥」「病気鳥」「異常鳥」を除いた鶏がライン シャックルに掛けられる

2. 湯漬、脱羽



湯漬機



脱羽機

湯漬〔第1槽水温：47～50℃ 第2槽水温：57～60℃ 浸漬時間：各槽1分間〕

↓

脱羽〔モミ型2基〕

3. 屠体検査工程



食鳥処理衛生管理者による「屠体検査」実施
■「屠体検査」を実施し、病気鶏・異常鶏をラインより外し廃棄

4. 中抜き工程／内臓検査／殺菌



自動中抜きシステムにより内臓が摘出される



■食鳥検査員〔兵庫県職員獣医師〕による
「内臓検査」実施
病気鶏・異常鶏をラインより外し廃棄



洗浄・殺菌槽
塩素殺菌

5. 洗浄、冷却



中抜きチラー槽
4℃以下の冷却水により 35 分間洗浄冷却

6. 内臓ライン



内臓処理ラインにより可食臓器を摘出

7. 丸屠体ライン



洗浄・殺菌槽



丸屠体冷却チラー槽

8. その他 原料課に関する設備



生鳥トラック消毒シャワー



冷凍機 (59.9t/日)



生鳥カゴ洗浄機